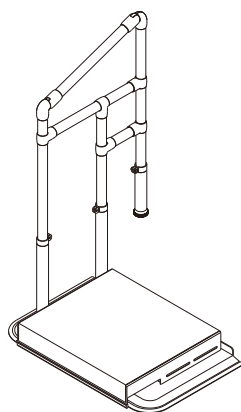
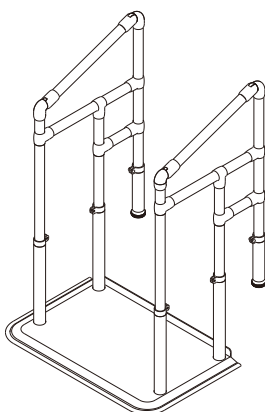


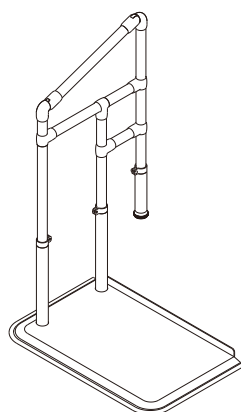
CKG-01



CKG-02



CKG-03



CKG-04

目次

！安全に関する表示	2
1. メンテナンスの目安	2
2. メンテナンス方法	3
3. 消毒方法	7
4. 保管・輸送方法	7
5. メンテナンス部品表	8

お買い上げありがとうございます

販売店様：このメンテナンスマニュアルを必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. メンテナンスの目安

場 所	状 態	対 処 方 法
全体	➡ 汚れ	➡ 2. メンテナンス方法 [1] 拭き取り
	➡ 部品がうまく取り付けられない	➡ 2. メンテナンス方法 [2] 取付方法の確認 [7] 部品交換
	➡ ガタつきがある	➡ 2. メンテナンス方法 [3] ボルト・ねじのゆるみ点検 [7] 部品交換
	➡ 塗装面にキズがある	➡ 2. メンテナンス方法 [4] 塗装面の補修
ベース部	➡ ねじがスムーズに回らない	➡ 2. メンテナンス方法 [5] 錆の除去 [7] 部品交換
	➡ 縁ゴムの外れ、破損	➡ 2. メンテナンス方法 [6] 縁ゴムの交換および再接着、再取付
手すり部	➡ スタンドのボルト・ねじがスムーズに回らない	➡ 2. メンテナンス方法 [7] 部品交換
	➡ 変形やねじれがある (平らな床面に置いた時ガタつきがある)	➡ 2. メンテナンス方法 [7] 部品交換
	➡ ボルト・ねじを締めてもガタつきがある	➡ 2. メンテナンス方法 [7] 部品交換
	➡ ジョイント部が外れたり、深いキズや亀裂がある	➡ 2. メンテナンス方法 [7] 部品交換
マット部	➡ 表面部に深いキズまたは亀裂がある	➡ 2. メンテナンス方法 [7] 部品交換
	➡ マグネットのは剥がれ	➡ 2. メンテナンス方法 [7] 部品交換
	➡ スタンド、スライドベースを外すことによってできる穴の補修	➡ 2. メンテナンス方法 [8] マット穴の補修方法

※メンテナンスの目安については、メンテナンスチェックシートも併せてご確認ください。

2. メンテナンス方法

[1] 拭き取り

- 水か中性洗剤を含ませた布をかたくしぼって拭いてください。

⚠ 注意

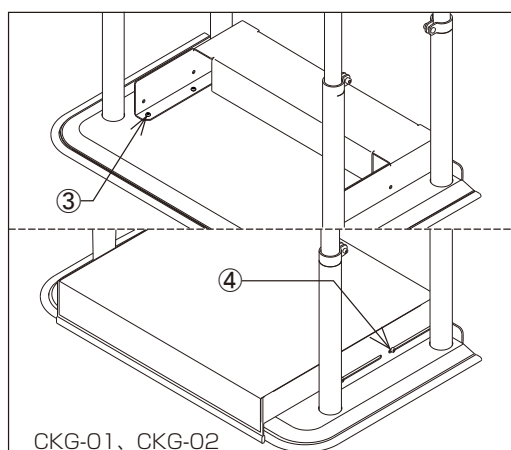
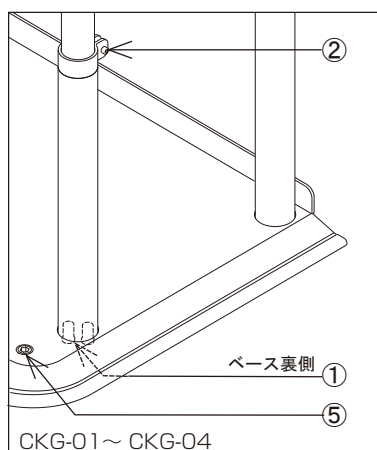
禁止	● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。
	● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質するおそれがあります。
	● たわしや磨き粉で磨かない。 キズがつくおそれがあります。
必ず守る	● 直射日光は避けて、陰干しにする。 変形や破損するおそれがあります。

[2] 取付方法の確認

- 正しく取り付けられているか、「あがりかまち用たちあがみ取扱説明書」で取付方法をご確認ください。
取扱説明書通りの取付方法でも部品がうまく取りつかない場合には、部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[7] 部品交換」を行ってください。

[3] ボルト・ねじのゆるみ点検

- 必要工具：六角レンチ（対辺 5mm）、⊕ドライバー（#2）
- 下図の①～⑤のボルト・ねじが指定締付けトルクで締め付けられていることを確認してください。
ボルト・ねじがゆるんでいる場合は指定締付けトルクで締付けを行ってください。
- 指定締付けトルクで締め付けてもガタつきがある場合は部品に変形や深いキズ、亀裂がないかを確認し、適切に「[7] 部品交換」を行ってください。



ねじの締付けトルク	
①	超低頭ねじ (M10×20) 11.76N・m {120kgf・cm}
②	六角穴付きボルト (M6×12) 5.2N・m {53kgf・cm}
③	なべ組ねじ (M5×12) 3.0N・m {30.6kgf・cm}
④	六角穴付きボタンボルト (M6×12) 7.8N・m {80kgf・cm}
⑤	六角穴付き止めねじ (M10×14) ※ゆるみがないか確認する

⚠ 注意

禁止	● 指定締付けトルク以上で締め付けない。
	● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締付け・取外しができなくなる可能性があります。)

[4] 塗装面の補修

汚れ、油などを拭き取り、アクリル系塗料または専用塗料 (CKA-AS) で補修してください。

※専用塗料は「5. メンテナンス部品表」を参照してください。

- 塗装中は、必要に応じてマスクや手袋を着用し、できるだけ皮膚に触れないようにしてください。

⚠ 注意

必ず守る	● 屋外または換気の良い場所で作業を行う。 密閉された作業場で行う場合は、局所排気装置を設け、塗装中、乾燥中ともに換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
	● マスクや手袋を着用する。 蒸気を吸いこんだり、塗料に直接触れないようにしてください。

[5] 錆の除去

- 必要工具：紙やすり（耐水性）（推奨粒度：ひどい錆には #300、それ以外は #1000）
 - (1) 紙やすり（耐水性）は使用しやすい大きさに切ってください。
 - (2) 錆がひどい場合は最初に紙やすり（耐水性）#300 で錆を取り除いてください。
 - (3) ベース面の錆は紙やすり（耐水性）#1000 で取り除いてください。
- 同じところを磨き続けると、その部分だけが軽く陥没することになりますので、注意してください。
- ベースまたはおもしろ板に変形、深いキズ、亀裂がある場合には「[7] 部品交換」を行ってください。

[6] 縁ゴムの交換および再接着、再取付

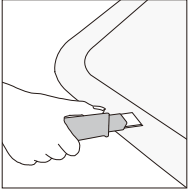
接着式

ご用意いただく●部 品：かまち縁ゴム（CKE-AF）

●必要工具：接着剤、カッター、紙やすり（推奨粒度：＃240）

●推奨接着剤：アロンアルファ EXTRA2000（東亜合成株式会社製）

※ 弊社メンテナンス部品としては縁ゴム接着剤（CKA-AI）をご用意しております。



再接着または交換をする際に、ベースに残っている接着剤などをカッターで取り除き、接着面の汚れをきれいに拭き取ってください。

※その際に紙やすり等（推奨粒度：＃240）でベースの縁ゴム接着面をこすることで、残りの接着剤を取り除くとともにその後の接着力をより向上させることができます。やすりがけを行う際は接着面についた削り粉等をきれいに拭き取ってから接着を行ってください。やすりがけをするとステンレス面に多少キズがつきます。接着剤が取れたらやすりがけをやめ、必要以上に削ることがないようにしてください。

再接着

（縁ゴムに破損や劣化がない場合）

- 縁ゴムの剥がれた部分（再接着する部分）に残っている接着剤をカッターなどで取り除きます。
- 縁ゴムとベースを接着剤にて接着します。
- 養生し、縁ゴムが確実にベースに接着されていることを確認します。

交換

（縁ゴムに破損や劣化がある場合）

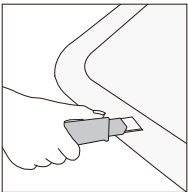
- 縁ゴムをベースから取り外し、ベースに付着している縁ゴムや接着剤をカッターなどで取り外します。
- 新しい縁ゴムをベースの長さに合わせてカッターなどでカットします。
- 縁ゴムとベースを接着剤にて接着します。
- 養生し、縁ゴムが確実にベースに接着されていることを確認します。

⚠ 注意	
❗ 必ず守る	● 接着剤は使用する商品の取扱説明書をよく確認し作業する。
	● 縁ゴムを接着したベースは平置きで保管する。 立てかけて保管すると、縁ゴムに負荷がかかり、縁ゴムが外れやすくなります。

はめ込み式

ご用意いただく●部 品：あがりかまちミニ縁ゴムⅡB（CKG-AC）

●必要工具：カッター、紙やすり（推奨粒度：＃240） ※ベースに接着剤が付着している場合のみ



接着式の縁ゴムを使用していた場合

ベースに縁ゴムや接着剤が残っている場合はカッターで取り除き、接着面の汚れをきれいに拭き取ってください。

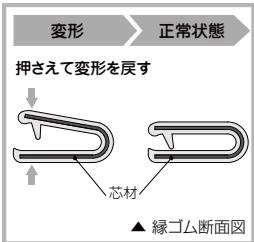
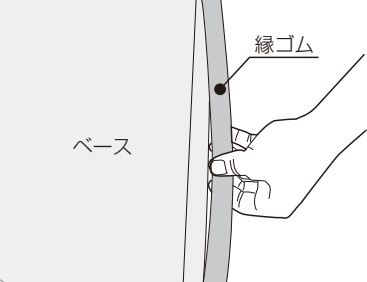
※その際に紙やすり等（推奨粒度：＃240）でベースの縁ゴム接着面をこすることで、接着剤をきれいに取り除くことができます。やすりがけをするとステンレス面に多少キズがつきます。接着剤が取れたらやすりがけをやめ、必要以上に削ることがないようにしてください。

再取付

（縁ゴムが外れた場合）

縁ゴムは落下などの衝撃で中の芯材が変形することがあります。変形したままではめ込んでもすぐに外れてしまうので、縁ゴムが外れた箇所を指で押さえつけて、縁ゴムの変形を矯正してください。

指で押さえても変形が直らない場合は、ペンチなどで押さえてください。



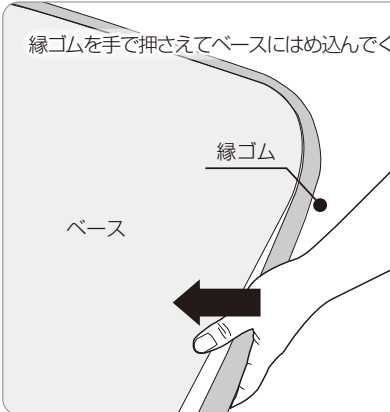
変形 → 正常状態

押さえて変形を戻す

芯材

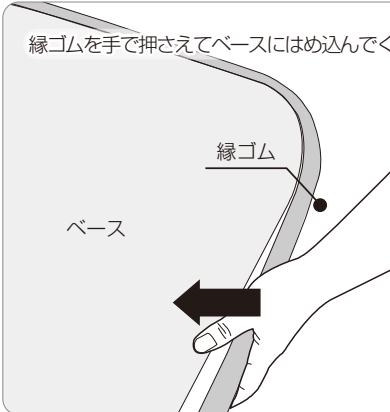
▲ 縁ゴム断面図

1



縁ゴムの芯材が変形している状態を示す図。変形したままではめ込んでもすぐに外れてしまうので、縁ゴムの変形を矯正してください。指で押さえても変形が直らない場合は、ペンチなどで押さえてください。

2



縁ゴムの芯材が変形している状態を示す図。変形したままではめ込んでもすぐに外れてしまうので、縁ゴムの変形を矯正してください。指で押さえても変形が直らない場合は、ペンチなどで押さえてください。

交換 (縁ゴムに破損や劣化がある場合)

＜交換する前の確認事項＞

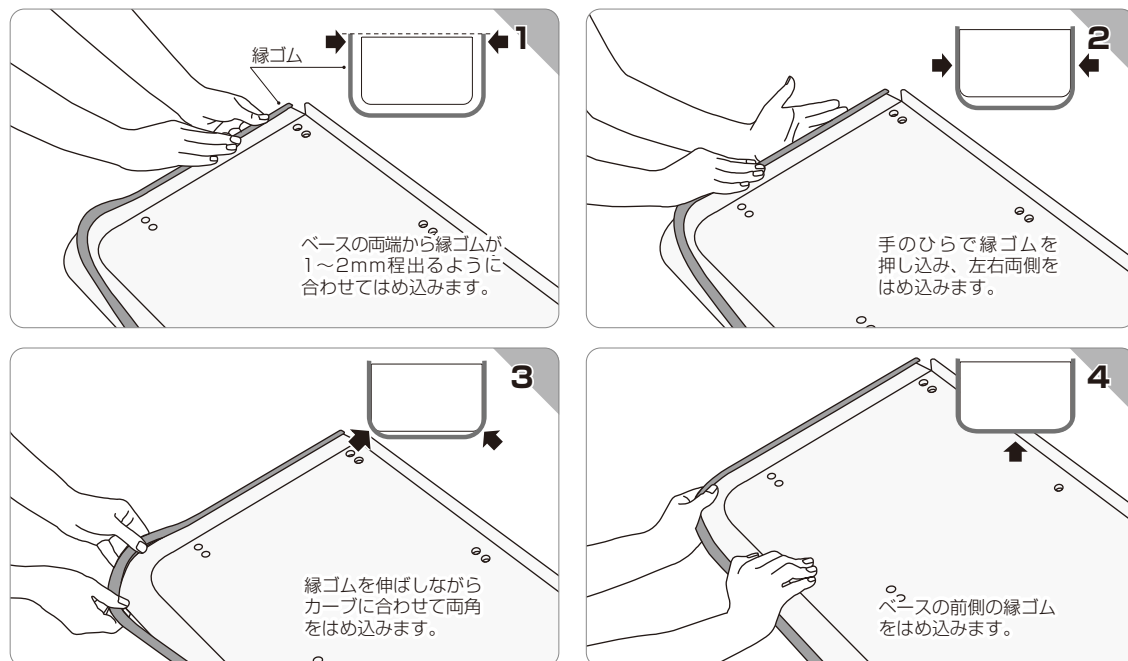
・縁ゴムの突起が上側になるように取り付けてください。

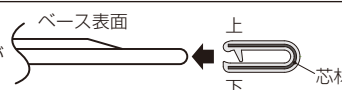


・縁ゴムの端面が貼りついている場合は、手ではがしてからはめ込んでください。



＜交換手順＞



⚠ 注意	
禁止	● 縁ゴムを取り付ける際はハンマーを使用しない。 縁ゴムの性能が低下する原因になります。
	● ベースを引きずらない。 縁ゴムが外れやすくなります。また摩擦により芯材が出てケガをするおそれがあります。
	● 縁ゴムをカットしない。 中の芯材が出てケガをするおそれがあります。
必ず守る	● 縁ゴム開口部の突起が上側になるように取り付け。 下側に取り付けると、突起部分がつぶれてしまい、縁ゴムの性能が低下する原因になります。 
	● 気温の影響を受け、縁ゴムが縮む場合があるので注意する。 ベースより短い場合は伸ばしながら取り付けてください。
	● 縁ゴムのはめ込みがしっかりできていることを必ず確認する。 はめ込みが不十分だと外れるおそれがあります。
	● 縁ゴムを取り付けたベースは平置きで保管する。 立てかけて保管すると、縁ゴムに負荷がかかり、縁ゴムの中の芯材が変形し外れやすくなります。

[7] 部品交換

メンテナンス部品は「5. メンテナンス部品表」を参照してください。

「あがりかまち用たちあがびミニ取扱説明書」の組立手順を参照してください。

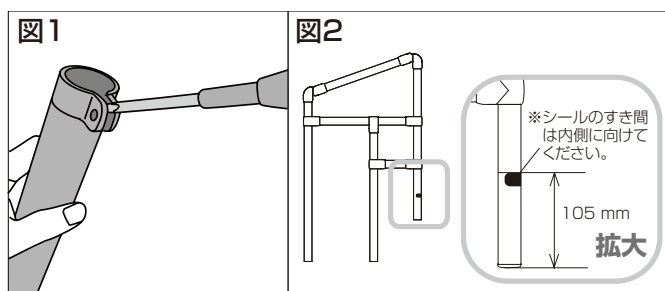
縁ゴムの部品交換の方法は「[6] 縁ゴムの交換および再接着、再取付」を参照してください。

● 手すり締付け部

締付け部の開きが少なくなり手すりパイプが入りづらくなった場合は塗装にキズがつかないように注意して、⊖ドライバーなどで押し広げてください。(図1)

● 高さ目印ラインシールの貼り替え

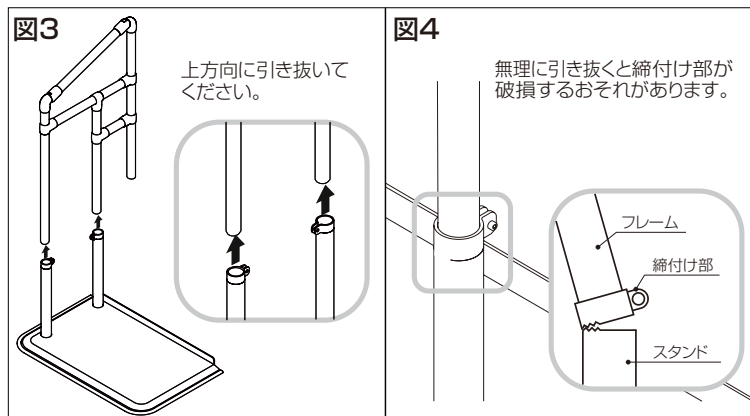
新しいシールを図2の位置に貼り付けてください。
シールのすき間は内側に向けてください。



●手すりフレームの交換

手すりフレームにガタつきが生じた場合、またジョイント部の外れ、深いキズ、亀裂が生じましたら手すりフレームの部品交換をしてください。

手すりフレームを引き抜く際は、ボルトを十分にゆるめて、平行に抜いてください。(図3)
強引に動かしたり、無理にねじって引き抜くとスタンドの締付け部が破損するおそれがあります。(図4)



⚠ 注意	
禁止	● 指定締付けトルク以上で締め付けない。
	● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締付け・取外しができなくなる可能性があります。)
必ず守る	● 部品交換を行う際は、指定部品を使用する。
	● 部品交換を行った際は、ご使用前にねじのゆるみ、ガタつきがないことを再確認する。
	● 定期的にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことを確認する。

[8] マット穴の補修方法

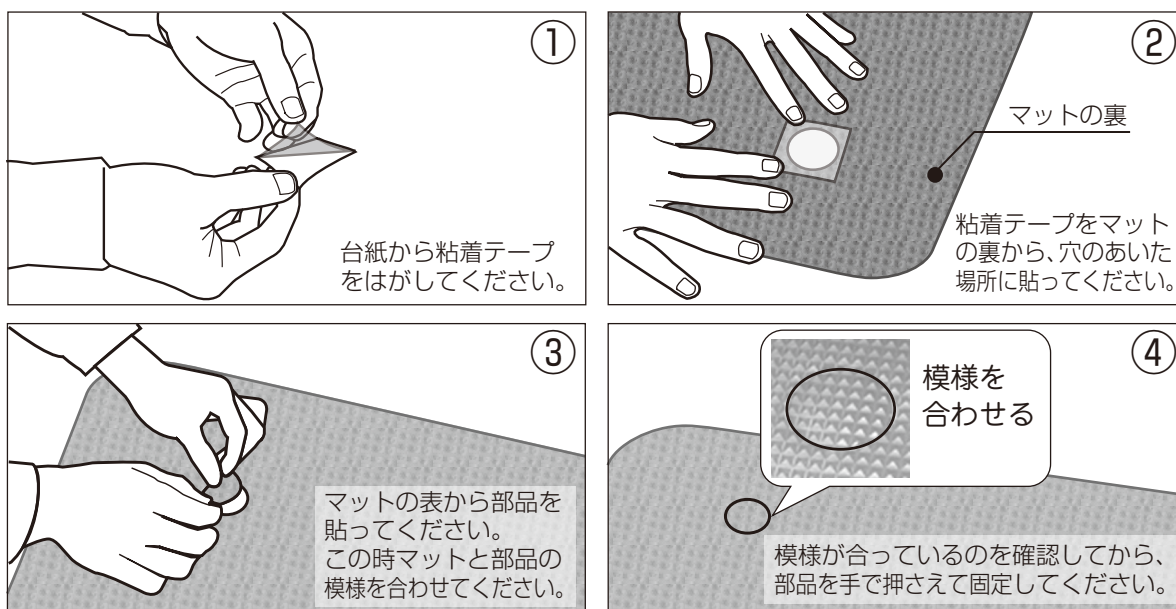
スタンドやスライドベースを外すことによってできる穴を「穴埋めシール」を使って埋めてください。

φ40の穴埋め用（スタンド取付穴）

品 名	かまちマット穴埋めA10入り
品 番	CKE-AH
内 容	φ40mm(マットと同質の部品)10枚 50×50mmの粘着テープ 10枚

φ10の穴埋め用（スライドベース取付穴）

品 名	かまちマット穴埋めB10入り
品 番	CKE-AI
内 容	φ10mm(マットと同質の部品)10枚 20×20mmの粘着テープ 10枚



⚠ 注意	
禁止	● 靴底でこすらない。 靴の裏などで強くこすった場合、はがれるおそれがあります。
	● 水に濡らさない。 部品や粘着テープが水に濡れた場合、はがれるおそれがあります。
必ず守る	● 砂やほこりなどの汚れに注意する。 粘着テープに砂やほこりなどが付着するとはがれやすくなります。

3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

注． 60℃を超える熱が加わるとマットが収縮する場合がありますので、消毒時の取り扱い（消毒方法等）にはご注意ください。

- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用法および使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。

（参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120 倍～ 300 倍程度に希釈）

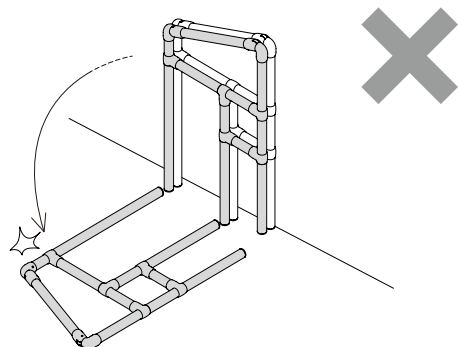
⚠ 注意	
禁止	● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。変質して破損するおそれがあります。
必ず守る	● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。

4. 保管・輸送方法

- 製品は直射日光を避けて、乾燥した常温の室内に保管してください。
- ベースは平置きで保管してください。
- 手すりは安定した状態で保管・輸送してください。
- 手すりは外部からの衝撃や荷重がない状態で保管・輸送してください。

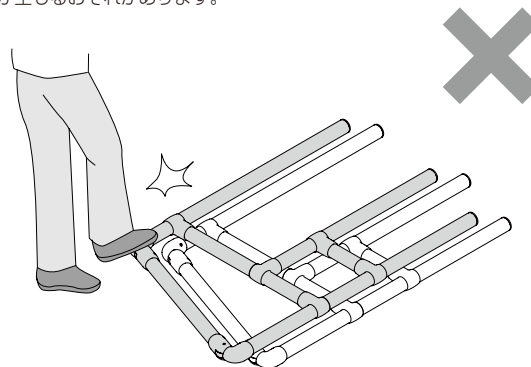
①手すりを立てかけるなど不安定な状態で保管・輸送をしない。

倒れた衝撃で手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



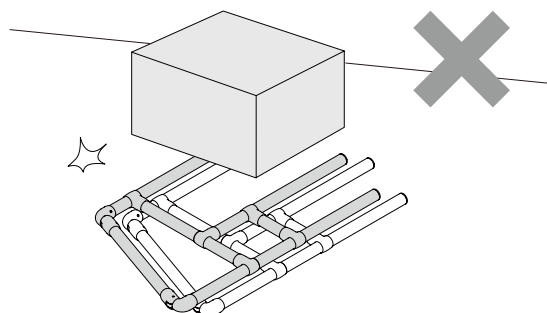
②手すりを地面に寝かせた状態や重ねた状態で保管・輸送をしない。

足で踏んだり、重ねた衝撃で手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



③手すりの上に荷物を載せない。

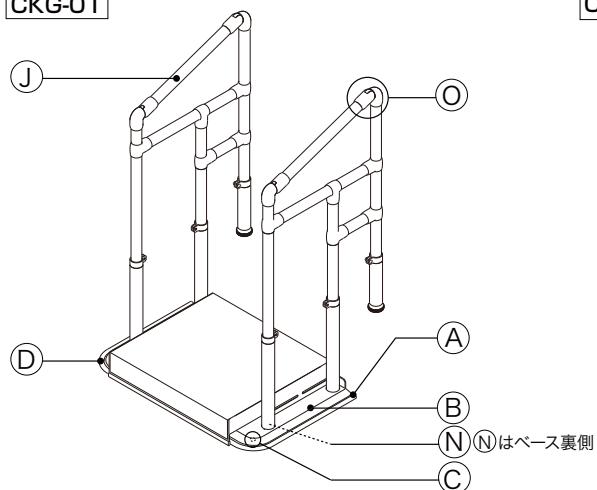
手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。



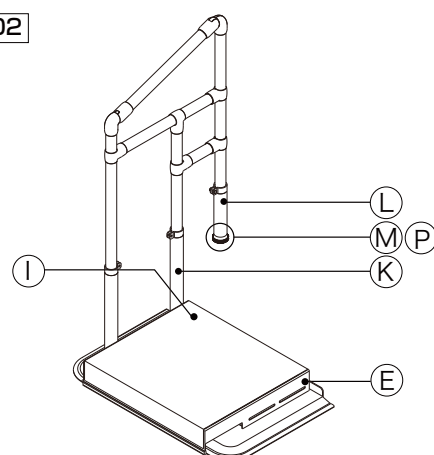
⚠ 注意	
禁止	● 手すりを保管・輸送する際は手すりに衝撃や荷重をかけない。手すりが破損、もしくは破損につながる亀裂が生じるおそれがあります。
必ず守る	● 直射日光の当たらない、乾燥した常温の室内に保管する。高温多湿の場所で保管すると変形、結合部の外れの原因になります。また、直射日光の当たる場所や炎天下の車内などに長時間放置すると、加熱によりマットが収縮するおそれがあります。

5. メンテナンス部品表

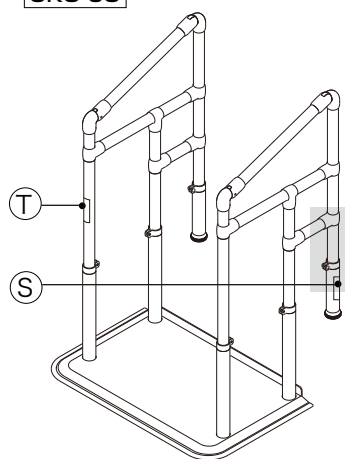
CKG-01



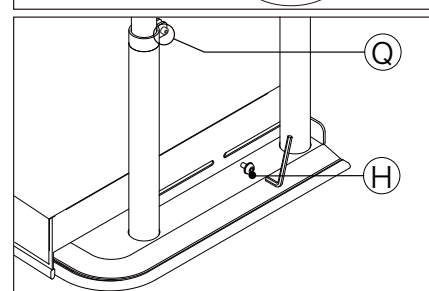
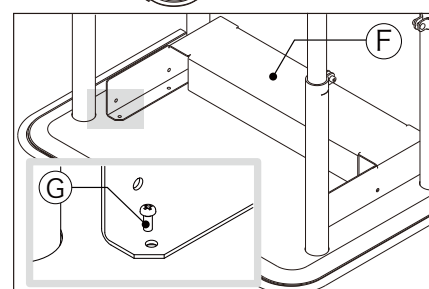
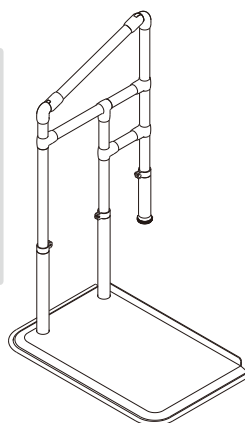
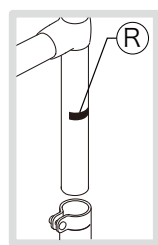
CKG-02



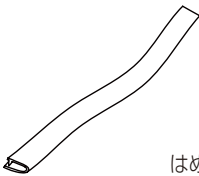
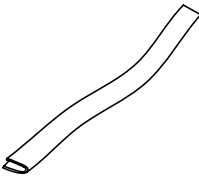
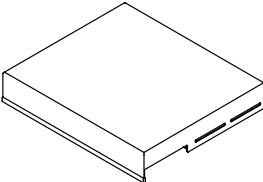
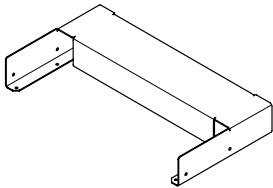
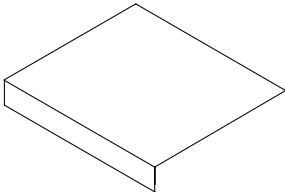
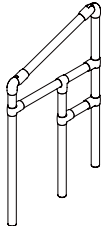
CKG-03

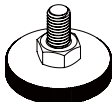
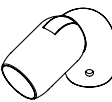
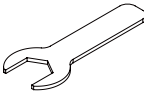
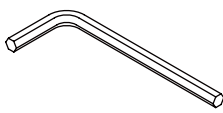


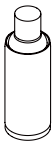
CKG-04



記号	分類	区分	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
A	共通	ベース部	かまちミニベース (縁ゴム付)	CKG-AA		ステンレス ゴム	1 台
B	共通	ベース部	かまちミニベースマット	CKG-AB 5 枚		樹脂 (マグネット付き)	5 枚
C	共通	ベース部	六角穴付き止めねじ (M10 × 14)	CKE-AE		ステンレス 樹脂	10 本

記号	分類	区分	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
D	共通	ベース部	あがりかまちミニ縁ゴムⅡB (1.445 m)	CKG-AC	 はめ込み式	樹脂 アルミ	5 本
			かまち縁ゴム (2 m)	CKE-AF		ゴム	1 本
E	CKG-01 CKG-02	スライドベース部	スライドベース箱部	CKG-BA		ステンレス	1 台
F	CKG-01 CKG-02	スライドベース部	スライドベース基部	CKG-BB		ステンレス	1 台
G	CKG-01 CKG-02	スライドベース部	なべ組ねじ (M5 × 12)	CKE-BC		ステンレス	10 本
H	CKG-01 CKG-02	スライドベース部	六角穴付きボタンボルト (M6 × 12)	CKG-BD		ステンレス	8 本
I	CKG-01 CKG-02	スライドベース部	スライドベースマット	CKG-BF 5 枚		樹脂 (マグネット付き)	5 枚
J	共通	手すり部	手すりフレーム B 本体	CKE-FB		樹脂 鉄 アルミ	1 台
K	共通	手すり部	スタンド L	CKE-CL	 ベース側取付ねじ 超低頭ねじ CKB-BE (別売り)	ステンレス	1 本
L	共通	手すり部	スタンド S	CKE-CS	 アジャスター CKE-SA (別売り)	ステンレス	1 本

記号	分類	区分	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
M	共通	手すり部	アジャスター (M10 × 25)	CKE-SA		樹脂 ステンレス	2 個
N	共通	手すり部	超低頭ねじ (M10 × 20)	CKB-BE		ステンレス	10 本
O	共通	手すり部	φ 32 自在ジョイント A	EB-5028A MB		アルミ	1 個
P	共通	手すり部	かまちアジャスターゴム	CKE-SB		ゴム	10 枚
Q	共通	手すり部	六角穴付きボルト (M6 × 12)	CKE-SC		鉄	12 本
R	共通	手すり部	かまち目印シール	CKE-FC		樹脂	10 枚
S	共通	手すり部	かまち注意喚起シール	CKE-AC		樹脂	10 枚
T	共通	手すり部	かまち注意シール	CKE-FD		樹脂	10 枚
—	共通	ベース部	六角板スパナ 17	CKE-AD		鉄	5 本
—	共通	ベース部	六角レンチ (対辺5mm)	CKA-MJ 5M		鉄	5 本

記号	分類	区分	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
ー	共通	ベース部	縁ゴム接着剤	CKA-AI		シアノアクリレート	1 本
ー	共通	スライドベース部 手すり部	たちあっぷ スプレー塗料MB	CKA-AS		アクリルラッカー	1 本
ー	共通	マット部	かまちマット穴埋め A	CKE-AH		樹脂	4 セット
ー	共通	マット部	かまちマット穴埋め B	CKE-AI		樹脂	4 セット

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
kaigo-web

<http://www.kaigo-web.info/>

■ 北 海 道 支 店 福祉介護機器課
〒072-0007 北海道美幌市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126(63)4285 FAX 0126(63)4459

■ 仙 台 支 店 福祉介護機器課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145 FAX 022(382)1099

■ 関 東 支 店 福祉介護機器課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)1511 FAX 0276(38)3522

■ 東 京 支 店 福祉介護機器課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113 FAX 04(2944)7007

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護機器課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315 FAX 0463(81)4316

■ 静 岡 支 店 福祉介護機器課
〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1
TEL 054(286)1101 FAX 054(286)3988

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護機器課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111 FAX 0568(67)7219

■ 大 阪 支 店 福祉介護機器課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440 FAX 072(673)8822

■ 広 島 支 店 福祉介護機器課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111 FAX 0829(36)3890

■ 九 州 支 店 福祉介護機器課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310 FAX 0948(72)4026

13092211

DW-187-10